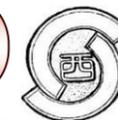




西白石小「学ぶ力」育成プログラム



学校番号 24013
学校名 札幌市立西白石小学校

自校学力調査(標研式)(2~6年)

●全校として総合学力の平均正解率が全国平均を上回っているのは「2年生」のみで、国語・算数とも他の学年で「到達不十分」の児童が多くなっている。特に算数では、2 学年以外全国平均を 10 ポイント以上下回っている。学力の底上げが必要である。

児童アンケート・保護者調査(1~6年)

●「学校で自分から進んで学習できる」については、88% 「勉強した内容がよく分かる」については、94%の子どもが肯定的な回答をしている。また「楽しく熱心に、毎日学習への取り組んでいる」は、89%の保護者が肯定的な回答をしている。さらに、この3 項目でABCDの中のD(全く当てはまらない)が、0 人であった。学習に対して意欲的な姿勢をもって生かしたい。

札幌市共通指標(5年)

●「学校で好きな授業がある」と「人に役に立つ人間になりたいと思う」と答えた子は 100%だが、「普段から計画を立てて勉強している」と答えた子は 56%と昨年度の67%よりも更に下回っている。

自立した札幌人 ～ふるさと札幌～

主体的に行動する人

- 新たな課題に興味・関心をもち、進んで考えたり工夫したりする
- 自分の目標をもち、明るく前向きな気持ちで行動する

支え合う人

- 思いやりの心を持ち、相手の気持ちや立場を理解する
- 互いに認め合い、励まし合ったり助け合ったりする

学び続ける人

- 学校や地域での様々な活動を通して、自分の住んでいる地域や札幌の良さに気付く
- 郷土や我が国の伝統・文化に触れるとともに世界の人々や文化に興味・関心をもつ

学校教育目標～重点目標～

強い子ども

西白石小学校
50年目の
伝統を育て続ける

助け合う子ども

考える子ども

明るい子ども

やりがいをもつ

授業で育てる

組織で育てる

地域とゆるやかに
つながって育てる

- ★日々の授業を充実～学ぶ意欲の向上～
- ★常に記に止めておきたい心掛け～環境整備
- ★教室の言語力を鍛える
- ★45 分の基本の流れを習慣にする

- ★普段の授業・生活を大切にする組織
- ★見通しをもってつなげていける組織
- ★教育課程の見直しする組織
～命と健康を守りながら～
- ★家庭に働きかけ続ける組織
- ★一人一人の背景を尊重する組織
～丁寧な対応・心の余裕～

- ★地域の資源(人・団体・施設)の力を借りる
・すもう大会 ・水辺の楽校 …etc
- ★勤労生産的行事で地域とつながる～HPで発信～
- ★日常の授業で保護者とつながる

改善の重点

- 学校での学びと宿題や家庭学習を連携させ学び続ける力を育てる。【学ぶ力をつける】
- 自分の思いや考えを言葉でつなげる言語力を高める。【自分の思いをもち適切に伝える力をつける】

学ぶ力に関する成果と課題

主体的に学習に取り組む態度について

●子どもの追求意欲を高める教材化を図った。また、既習を意識した単元構成や「教師の関わり」について全学年共通で取り組んだ。

(成果)「学校で自分から進んで学習できる」と答えた児童は 88%と、学ぶ意欲の高まりが見られたことで、主体的な学びを生み出すことができた。

(課題)計画を立てて取り組んだり、課題追究に迫る調べ方や学習方法を確立したりするなど、学ぶ意欲を具現化し、本質的な学びを追求していく必要がある。

思考力・判断力・表現力等について

●コロナ禍でも、教師が個々の考えを引き出す課題設定や、交流のさせ方の工夫をさせると共に、板書など環境構成も工夫した。

(成果)小交流やペア交流など実施するのは難しい状況であった。しかし、年度の終わり頃にICT(一人一台端末等)を活用して交流をさせた。

(課題)より有効なICT末端の活用方法を教師が獲得しなければならない。

基礎的・基本的な知識及び技能について

●TT や学びのサポーター、にーごプロジェクト等を活用し、個々の学習進度にあった指導に力を入れるとともに、家庭学習や宿題、読書を推し進めた。

(成果)TT や学びのサポーター・にーごプロジェクト等を活用し、どの教科も積み残しなく終了した。

(課題)基礎学力の定着に向けて、宿題の量や家庭学習の方法など、「計画を立てて学習に取り組む」ための手法を全校で共通化し、各家庭へ啓発を促す必要がある。

「子どもが自ら考え、判断し、表現する学習活動」の充実

- 体験的な活動や言語活動、課題探求的な学習活動を取り入れた**授業の工夫改善**
 - ・自分の思いを適切に伝える「自己表現力」の育成。
 - ・感染対策に配慮、工夫した学習活動の推進
 - ・「道徳」「外国語」「プログラミング教育」「キャリア教育」研修や「ICT を活用した学習活動」の充実。
- 「書く」と「交流」の**スパイラル**による考えの深化
 - ・「書く」と「交流」をスパイラルさせ「自ら学ぶ方法」と「人と学ぶ合う方法」の定着を目指す。
- 見通しをもってつなげていける**組織**
 - ・学習習慣の定着に向けて、学校として指導内容の基準を設定し、組織としての高まりを目指す。
 - ・家庭と連携し自ら生活をコントロールできる力の育成。ex)さっぽろっ子「学び」のスヌメの活用 ・HPでの啓発

学ぶ意欲の向上

○教師が**授業の質を高める**

- ・難しいことに挑戦する意欲を伸ばす授業づくりと学び合いの場を設定
- ・集団で学ぶ良さが味わえる授業展開。
- ・授業交流や合同授業、校種間連携も含めた各研修を通して学び合いを深める。
- ・授業を通して自己肯定感を高める。
- 学びの**振り返り**を大切に**した学習**
 - ・1時間の学びを振り返る場を大切に、自分の「伸び」を実感して新たな目標をもつことや学びへの意欲を育む。

「自分への自信をもたせるきめ細かい指導」の充実

- TTの**有効活用**と**習熟度別学習**の充実及び**にーごプロジェクト**の効果的な活用
 - ・子ども一人一人の実態に応じた有効な関わり方を検討し、少人数指導を積極的に活用する。
 - ・算数では、複数単元を習熟度別学習にあて、より一層の充実を図るとともに、5・6年生ではにーごプロジェクトを効果的に活用する。
- 個別指導**による個人差への**的確な対応**
 - ・習熟度に応じて、個別指導を充実させ、基礎・基本や学習内容の定着を図る。
 - ・作文や書写の指導など、個への適切な関わりが必要な学習では、担任外との連携を密にし、個に応じた指導の充実を図る。
 - ・異校種体験や交流による自己肯定感の向上。

校種間・学校間連携の充実 ～「小中一貫した教育」の実践による系統性・連続性のある教育の推進～

検証

- ★日常の学習の見取り(観察・ノート・テスト・ワークシート・学習カード)
- ★各種調査(全国学力学習状況調査・自校学力調査・札幌市共通指標)
- ★児童アンケート・保護者アンケート

中間評価

学校評価

研究のまとめ